

2022 年 12 月 14 日

各 位

J X 石油開発株式会社

CCS+ Initiative への参画について

当社（社長：中原 俊也）は、CCS＜注 1＞による CO₂削減量算定の方法論の確立によって、環境技術を発展させることを目的に設立された国際的な枠組みである「CCS+ Initiative」に参画しました。

CCS+ Initiative は、CO₂削減量算定の方法論をボランタリークレジット市場＜注 2＞で活用されることを企図して VCS＜注 3＞を通じて公表することを予定しているほか、さまざまな活動を通じて CCS/CCUS＜注 4＞の普及・拡大を目指しているものです。

当社は、CCS/CCUS はカーボンニュートラル実現のために重要な役割を担うと考えており、かねてより米国テキサス州において火力発電所から排出される CO₂を有効利用する Petra Nova CCUS プロジェクトなど、複数の CCS/CCUS プロジェクトで実績を重ねております。

また、当社が属する E N E O S グループは、2040 年長期ビジョンにおけるありたい姿として、低炭素・循環型社会への貢献を掲げており、2022 年 5 月に公表したカーボンニュートラル計画達成に向けた取り組みの一環として、当社は CCS/CCUS 事業を推進してまいります。

＜注 1＞ CCS: Carbon dioxide Capture and Storage の略。排出される二酸化炭素を回収し地下に圧入する技術。

＜注 2＞ ボランタリークレジット市場: 民間が主導して実施する、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減量をクレジットとして扱い、企業の間などで取引する市場のこと。

＜注 3＞ VCS: Verified Carbon Standard の略。ボランタリークレジットの認証機関の 1 つ。

＜注 4＞ CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage の略。排出される二酸化炭素を回収し、新たな商品やエネルギー生成のために利用する技術。

以 上